

除草剤の特長と登録内容

●グルホシネート系除草剤

雑草の茎葉部より吸収し、地上部をすばやく枯殺する。タデ類、スギナ類に特に効果が高く、植物体内にアンモニアが蓄積され、植物が枯死する。散布適期は雑草生育期で、草丈30cm以下まで。

農薬名	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(／10a)		使用方法	グリホシネート系除草剤総使用回数
				薬量(原液)	希釈水量		
バスタ液剤	りんご キウイフルーツ	一年生雑草	収穫21日前まで	300～500ml	100～150ℓ	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		りんご 500～1000ml キウイフルーツ 500～750ml			
	ぶどう、なし、ブルーベリー、桜桃、ネクタリン、かき、もも、うめ	一年生雑草	収穫前日まで	300～500ml			
		多年生雑草		500～1000ml			
	くり	一年生雑草	収穫30日前まで(雑草生育期草丈30cm以下)	300～500ml			
		多年生雑草		500～1000ml			
ザクサ液剤	りんご	一年生雑草	収穫21日前まで(雑草生育期草丈30cm以下)	300～500ml			
		多年生雑草		500～1000ml			
	くり	一年生雑草	収穫30日前まで(雑草生育期草丈30cm以下)	300～500ml			
		多年生雑草		500～1000ml			
	果樹類 (かんきつ、りんご、びわ、いちじく種子、くり、キウイフルーツを除く)	一年生雑草	収穫前日まで(雑草生育期草丈30cm以下)	300～500ml			
		多年生雑草		500～1000ml			

●ジクワット・パラコート系除草剤

非選択性接触型茎葉処理除草剤で、あらゆる植物の緑色部を速やかに枯らす。土に接触すると直ちに不活性化し、成育中の作物に対しても根部吸収による薬害の心配が無い。雑草が生え揃ったらできるだけ早い時期に散布する。

農薬名	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(／10a)		使用方法	ジクワット系除草剤総使用回数
				薬量(原液)	希釈水量		
プリグロックスL	果樹類 (かんきつを除く)	一年生雑草	収穫前日まで(雑草生育期)	800～1000ml	100～150ℓ	雑草茎葉散布	5回以内
		多年生雑草		1500～2000ml			
		スギナ		1000～2000ml			
レグロックス	果樹類	果樹園下草 一年草雑草	収穫30日まで(雑草生育期)	300～500ml	70～100ℓ		

●グリホサート系除草剤

雑草の茎葉部より吸収し根まで確実に枯らす。他の系統の除草剤より効果の発現は遅いが、持続性が期待できる。果樹類での登録の為、使いやすい。散布適期は雑草生育期で、草丈30cm以下まで。

主幹部に除草剤が付着すると、皮部に障害を生じて樹が衰弱することがあるので散布には十分注意する。

低圧で飛散の少ない少量専用ノズル及び飛散防止カバーを使用する。ヒコバエは除去しておく。

農薬名	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(／10a)		使用方法	グリホサート系除草剤総使用回数
				薬量(原液)	希釈水量		
ラウンドアップ マックスロード	果樹類	一年生雑草	収穫7日前まで	200～500ml	通常散布 50～100ℓ 少量散布	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500～1000ml			
		スギナ		1500～2000ml			
		マルバツユクサ		500～1500ml			
タッチダウンIQ	果樹類 (かんきつを除く)	一年生雑草	収穫5日前まで	250～500ml	25～50ℓ		
		多年生雑草		500～1000ml	25～100ℓ		
		スギナ		1500～2000ml	25～50ℓ		